

山行報告書

日時	2019年6月8日(土)～9日(日)		天候	曇り
山名	日向神 八女津姫エリア・奥日向神キャンプ場周辺			
CL		参加者	katsu、しんいち	
(コース)	6/8 10:00 - 12:00 ビバーク練習、コンティニアンス練習 13:00 - 16:00 クライミング実践講習① (トップロープ、支点構築等) 6/9 07:30 - 16:30 クライミング実践講習② (マルチピッチ、ラッペル等)			
(コメント)	<p>2回目の講習、最初のツェルトの利用方法に関して、私は今までテント的な使い方をしかしていませんでした。もちろん被って使用することも知っていましたが、いろいろな形、大きさがあることも知っていました。ただ、実際にツェルトを比べる事は滅多になく、今回様々な使い方や形がある事、多人数で使用する事も参考になりました。</p> <p>前回クライミングの講習は体育館で横にロープを張ってイメージしながら、ロープワークやマルチのシステムなどを教えていただきましたが、クライミングとはどんな事かくらいの漠然として頭の中できちんと整理できていない状態だったと思います。</p> <p>今回実際にスラブの岩を登るだけではなく、ビレイやマルチクライミングのシステム、ロープワーク、クイックドロの使い方、形によるカラビナの使い方など実際に岩に登りながら行い、たくさんのお話を2日の間に教えていただきました。1回目の無理やり横に進みながら教えていただいた事が、雲が晴れるように輪郭がくっきり見えてきました。ただ、マスト結びが未だに半マストになっていたり、カラビナのロックを忘れて、ロープが絡んでしまったり、クイックドロが逆になっていたり、ATCにロープを逆に付けそうになったり、まだまだ不十分どころが多く、反復練習がまだ足りない事を実感しました。自分と仲間の命に直結する間違いをしそうになった事も今回多々ありました。講師の皆さんのご指摘により明確になり、講習前とはクライミングの感覚的なものが全く違うものになりました。(katsu)</p> <p>私自身、1年半ぶりのマルチピッチ、またそれまでもシングルロープでの1:1のマルチしかしていなかったため、1:2のダブルロープの登攀で色々指摘を受けてバタバタしてしまい、反省しきりです。もっと落ち着いて出来るように会に帰ってから練習をしたいと思います。また、ダブルロープはロープの受け渡しに難しく、すぐ絡まってしまうこともわかりました。早く登攀を始めるためにも、自宅等でロープの引き上げの練習、ロープの受け渡しの練習をしたいと思います。</p> <p>今回個人的に特に勉強になったこととして、一つは今までビレイデバイスのセットの際にねじれが出ることがあったのですが、それを防ぐセットの仕方を学ぶことができました。ロープをビレイデバイスに入れる際の確実な方法も学びました。二つ目は、スラブを登るには、一步を大きめにすれば、踵も下がり、胸も立ち自然とフリクションが高まることを教えて頂きました。実際にも安定して登れることを実感できました。3つ目としてリーダーとして皆さんをいざという時に守れるツェルトを常に持参して、きちんと使えるように時々練習が必要であることも学びました。</p> <p>9月の比叡山は、講師が言われるとおり、現状では厳しいと思います。クライミング技術を高めるとともに、ペアを組む生徒の皆さんとスムーズな連携ができ、助け合えるような関係になればと思っています。(しんいち)</p>			
費用概算	(交通費/人) (その他/人)			